

これまで can 及び can't の音声に関して様々な点から研究が行われてきた。本発表では、それらの研究を振り返りつつ、can 及び can't の発音指導法を提案する。英語の法動詞 can は頻繁に使用される法動詞の 1 つであり、その否定の縮約形 can't も同様であるが、その原形の cannot は会話ではあまり使用されない(大井川, 2021)。通訳現場・訓練において can 及び can't の聞き分けに困ることがあるという報告もあり(Takahashi & Ooigawa, 2012)、その適切な指導法は必要であると考えられる。

can't には少なくとも英国系と北米系の 2 種類の発音が存在するが(e.g. Wells, 2008)、日本の英語教育では広く北米系英語の発音が教えられていると考えられる(大井川, 2018)。can 及び can't に特化した発音指導に応用可能な聞き取りに関する指導としては、can は弱形、can't は強形として発音されることが多く can't の /t/は[t]として発音されないことが多いため(大井川, 2020, 2021)、一般的に強勢がある場合は can't、ない場合は can という指導がなされていると考えられる(e.g. 小川, 2009, p. 19)。しかしながら、can は文末などで強形として発音されることもある(Collins & Mees, 2008, p. 20; Ooigawa, 2014; 大井川, 2021)。他に発音指導として、後続語との強勢の有無の組み合わせで発音し分けるという方法も提案されているが(Cook, 2012, p. 37)、can や can't は後続語を伴わないこともある(e.g. Ooigawa, 2014)。

Ooigawa (2018)では can には音節末の子音として明瞭で長い鼻子音が存在し、一方 can't には全く鼻子音が存在せず鼻音化母音のみであるか短い鼻子音を伴うとされており、これはコーパス分析においても確認された(大井川, 2020)。これらの研究成果を踏まえつつ、現段階で考える最も有効な can 及び can't の発音指導としては、以下に示すように、can では鼻子音（特に[n]）を強調する発音指導法と can't では反対に鼻子音を強調せず、鼻音化母音として発音する指導法を提案する。

|       |                     |                |
|-------|---------------------|----------------|
| can   | [k <sup>h</sup> æn] | キャンヌ → キャン (ヌ) |
| can't | [k <sup>h</sup> æ̃] | キャ! → キャ̃!     |
|       | [k <sup>h</sup> ɑ̃] | カ! → カ̃!       |

#### 引用文献：

- Collins, Beverley S., & Mees, Inger M. (2008). *Practical Phonetics and Phonology: A Resource Book for Students* (2nd ed.). New York: Routledge.
- Cook, Ann. (2012). *American Accent Training: A guide to speaking and pronouncing American English for everyone who speaks English as a second language* (3rd ed.). Hauppauge, NY, the USA: Barrons.
- Ooigawa, Tomohiko. (2014). Perception of American English Utterance-Final “can” and “can’t” by Japanese Listeners. *Sophia Linguistica*, 62, 31-43.
- Ooigawa, Tomohiko. (2018). *Perceptual Learning of Syllable-final Contrast: Perception and Training of Various “can” and “can’t” by Japanese, Chinese and French Listeners*. (Doctoral thesis), Sophia University.
- Takahashi, Kinuko, & Ooigawa, Tomohiko. (2012). Perception of American English “can” and “can’t” by Japanese professional interpreters. *Interpreting and Translation Studies*, 12, 249-262.
- Wells, John C. (Ed.) (2008) *Longman Pronunciation Dictionary* (3rd ed.). Essex, UK: Pearson Education Limited.
- 小川直樹. (2009). 耳慣らし英語ヒアリング 2 週間集中ゼミ (新装版) : アルク.
- 大井川朋彦. (2018). 中学検定教科書の付属 CD の音声と英語学習者の can 及び can't の知覚の関係. 日本音声学会第 338 回研究例会, 宇都宮共和大学宇都宮シティキャンパス.
- 大井川朋彦. (2020). コーパスを用いた米英語の can 及び can't の音声的な差異の分析. *Sophia Linguistica*, 69, 1-10.
- 大井川朋彦. (2021). 音声コーパスを用いた強形の can に関する研究. 国際関係学部研究年報, 41, 13-19.